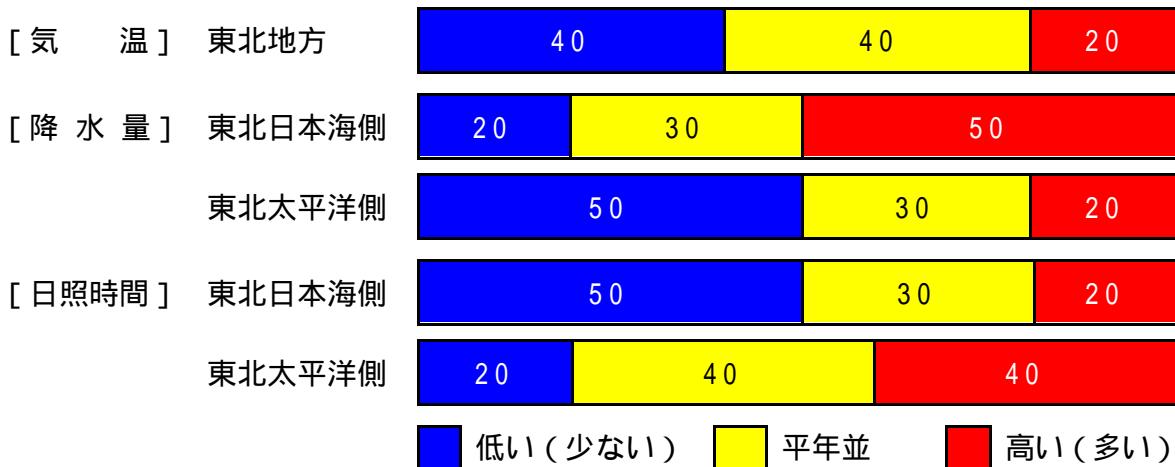


# 東北地方 1か月予報の解説（予報期間：2月17日～3月16日）

平成13年2月16日 仙台管区気象台

## 1. 向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率（%）



[ 気 温 ]: 東北地方は「平年並」か「低い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「高い」の可能性は20%と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北日本海側は「多い」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

東北太平洋側は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北日本海側は「少ない」の可能性が最も大きく、その確率は50%です。次に大きい可能性は「平年並」で、その確率は30%です。「多い」の可能性は20%と小さい。

東北太平洋側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ40%です。「少ない」の可能性は20%と小さい。

\* 東北日本海側の [ 降雪量 ] の予想は終了しました。

## 2. 予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう 1 か月

東北地方は、冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。

東北日本海側では平年に比べ雪や雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

向こう 28 日間の晴れ日数：東北日本海側約 9 日、東北太平洋側約 18 日

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 短い周期で気圧の谷が通り、気圧の谷の通過後は一時的に冬型

(2 月 17 日～2 月 23 日) の気圧配置となる見込みです。東北日本海側では雪の日が多く、東北太平洋側では沿岸部を中心に概ね晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約 2 日、東北太平洋側約 4 日

2 週目…………… 冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では曇

(2 月 24 日～3 月 2 日) りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約 2 日、東北太平洋側約 4 日

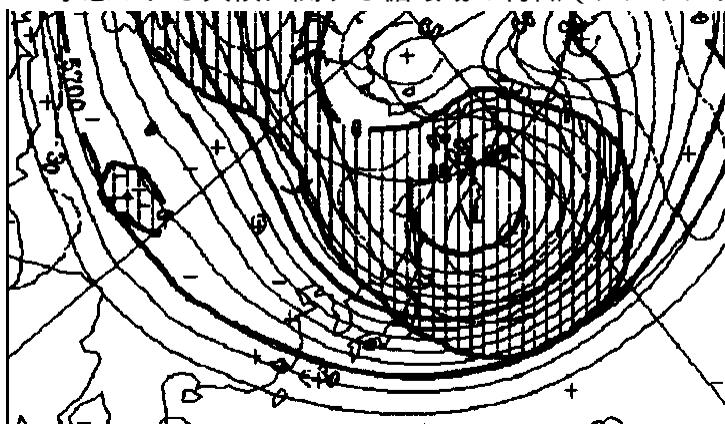
3～4 週目…………… 冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では曇

(3 月 3 日～3 月 16 日) りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約 5 日、東北太平洋側約 9 日

### 予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

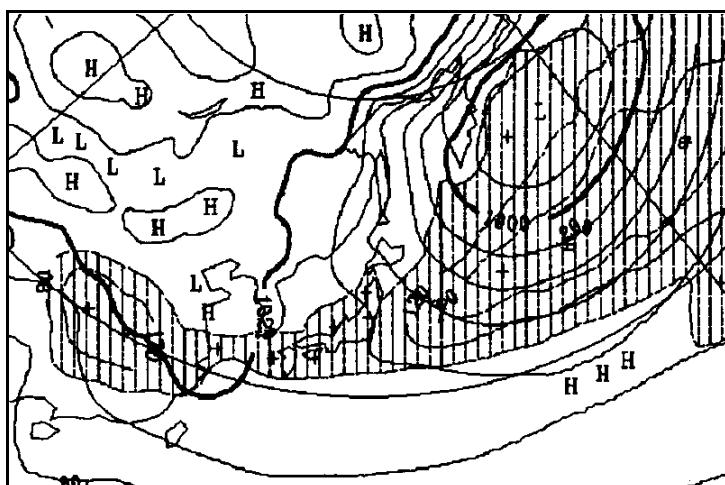


月平均の 500hPa 高度・偏差  
(等高度線 : 60m 毎、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差)

- 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、極付近正偏差で、関東以北はカムチャッカ半島付近に中心をもつ負偏差に覆われる。また、バイカル湖付近は正偏差で、寒気が南下しやすく、北日本では冬型の気圧配置になりやすい。

週別（図略）では、1週目、3~4週目は月平均とほぼ同様。2週目は、日本付近は広く負偏差に覆われる。

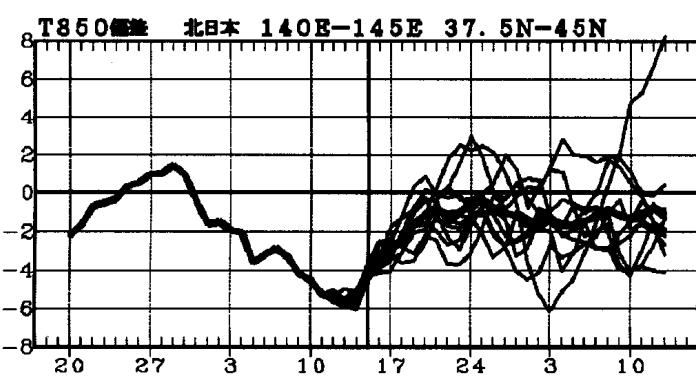


月平均の地上気圧と降水量  
(等圧線 : 4hPa 毎、降水量 : 40mm 毎、陰影部 : 80mm 以上)

- 地上気圧と降水量

月平均で見ると、中国大陸に高気圧、ベーリング海では低気圧が発達して、北日本は冬型の気圧配置となっている。日本付近は東西にのびる弱い降水域に覆われるが、まとまったものはからない。

週別（図略）でも北日本は冬型の気圧配置が続く。2週目に低気圧の通過に伴う弱い降水域が日本付近を広く覆うが、3~4週目は月平均と同じ。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想  
(縦軸 : 気温平年差 ( ) 横軸 : 日付)

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

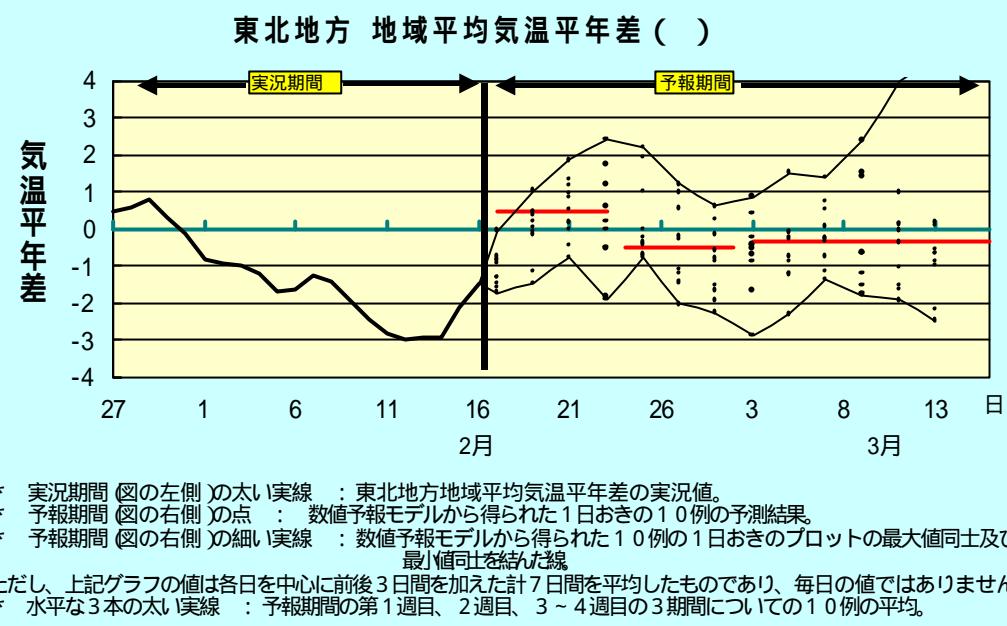
- 北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1週目中頃から昇温して平年並に近づくものの期間を通して平年並～平年より低い。

個々のメンバーは1週目中頃まではそろっているが、それ以後はばらついている。

### 3. 東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1週目「平年並」、2週目「平年並」、3~4週目「平年並」を予測している。なお、アンサンブルメンバーの傾向は平年並~低いでそろっており信頼度は大きい。

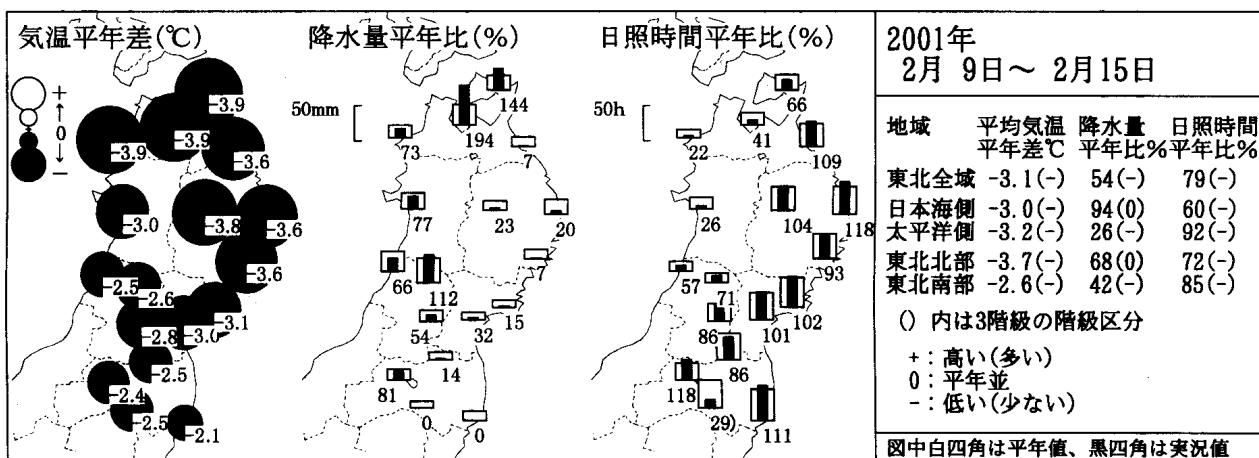


### 4. 最近1週間(2月9日~2月15日)の天候の経過

気圧の谷が短い周期で通過し、気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となった。このため東北日本海側では曇りや雪の日が続き、東北太平洋側でも曇りの日が多くなった。

また、東北地方では強い寒気が入ったため、気温がかなり低い状態が続いた

平均気温は、東北地方で平年差-3.1と低かった。降水量は、東北日本海側で平年比94%と平年並、東北太平洋側で平年比26%と少なかった。日照時間は、東北地方で平年比79%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)